

# 大豆における高温対策について

資料5-2

## I 大豆作柄解析試験(令和8年産)

福島県農業総合センター  
令和8年6月24日現在

- ・出芽日数について、標播は本部（郡山）で平年並、会津地域研究所（会津坂下）で1日早く、浜地域研究所（相馬）で2日遅い。
- ・6月下旬の降雨により湿害が発生することが見込まれる。

表1 生育ステージ

場所	播種時期	品種名	年次	播種期 (月/日)	出芽期 (月/日)	出芽 日数 (日)	5葉期 (月/日)	開花期 (月/日)	開花まで 日数 (日)	成熟期 <sup>2)</sup> (月/日)	結実 日数 <sup>2)</sup> (日)	
本部 (郡山)	標	タチナガハ	本年	6/1	6/10	9						
			前年	5/29	6/8	10	6/28	7/19	51	10/26	99	
			平年	6/2	6/11	9	7/4	7/25	53	10/25	91	
			平年差	-1	-1	0						
	播	あやこがね	本年	6/1	6/10	9						
			前年	5/29	6/8	10	6/28	7/17	49	10/18	93	
			平年	6/2	6/11	9	7/3	7/24	52	10/17	85	
			平年差	-1	-1	0						
	標	里のほほえみ	本年	6/1	6/10	9						
			前年	5/29	6/8	10	6/29	7/20	52	10/23	95	
			平年	6/2	6/11	9	7/4	7/24	52	10/24	90	
			平年差	-1	-1	0						
晩	タチナガハ	本年	6/19									
		前年	6/20	6/28	8	7/20	8/2	43	10/30	89		
		平年	6/20	6/28	8	7/19	8/3	44	10/29	85		
		平年差	-1									
播	里のほほえみ	本年	6/19									
		前年	6/20	6/28	8	7/20	8/3	44	10/26	84		
		平年	6/20	6/27	7	7/18	8/3	44	10/28	85		
		平年差	-1									
会津地域 研究所 (会津 坂下)	標	あやこがね	本年	6/1	6/8	7						
			前年	5/29	6/6	8	6/27	7/15	47	10/19	96	
			平年	6/1	6/9	8	7/4	7/22	51	10/22	92	
			平年差	0	-1	-1						
	播	里のほほえみ	本年	6/1	6/8	7						
			前年	5/29	6/7	9	6/29	7/16	48	11/7	114	
			平年	6/1	6/9	8	7/4	7/22	52	11/1	102	
			平年差	0	-1	-1						
	晩	あやこがね	本年	6/18								
			前年	6/20	6/28	8	7/17	8/2	43	10/20	79	
			平年	6/21	6/28	8	7/19	8/2	43	10/24	83	
			平年差	-3								
播	里のほほえみ	本年	6/18									
		前年	6/20	6/28	8	7/18	8/2	43	11/11	101		
		平年	6/21	6/28	7	7/19	8/2	43	11/4	94		
		平年差	-3									
浜地域 研究所 (相馬)	標	タチナガハ	本年	6/11	6/19	8						
			前年	5/29	6/3	5	7/4	7/19	51	11/4	108	
			平年	6/7	6/13	6	7/9	7/28	51	10/30	94	
			平年差	4	6	2						
	播	里のほほえみ	本年	6/11	6/19	8						
			前年	5/29	6/3	5	7/4	7/19	51	10/28	101	
			平年	6/7	6/13	6	7/8	7/27	50	10/25	90	
			平年差	4	6	2						
	晩	タチナガハ	本年	6/25								
			前年	6/20	6/28	8	7/13	8/1	42	11/4	95	
			平年	6/23	6/29	6	7/20	8/5	43	11/2	89	
			平年差	2								
播	里のほほえみ	本年	6/25									
		前年	6/20	6/28	8	7/13	8/1	42	10/28	88		
		平年	6/23	6/29	6	7/22	8/7	45	10/30	84		
		平年差	2									

1) 平年値は過去5カ年の数値を使用

2) 本部の「成熟期」及び「結実日数」の平年値は青立による著しい成熟期遅れが生じた令和5年度を除いた値(令和10年度まで同様)

## II 大豆栽培の高温対策について

高温条件下でも安定的に大豆生産するために

### <ポイント>

#### ☞ 開花以降の乾燥ストレスをいかに回避するか

開花期から子実肥大初期にかけて土壌が乾燥すると落花、落莢が多くなり減収します。子実肥大期中期の高温で裂皮粒、子実肥大期後期の高温で青立ちが増加し、収穫時の品質に影響します。

#### 1 暗渠の管理

地下水位を維持するため、高温少雨時には暗渠を閉め、地下水位の低下を防ぐ。

雨天時には暗渠を開き、速やかに排水し、停滞水が発生しないようにする。

#### 2 灌漑

畝間灌漑、または暗渠を閉じてほ場周囲の明渠への通水を実施する。

灌漑は夕方に実施し、ほ場全体に水が行き渡ったら水を止め、速やかに排水する。

※①「開花以降で1週間以上降雨がないとき」、②「日中に葉の反転が50%以上見られるとき」③「地下水位60~70cmより低下したとき」のいずれか一つでもあったときに実施の目安

<高温少雨年（令和5年）における大豆の畝間灌漑の効果（山形県）>

表 収量及び品質

区名	収量調査				粒厚分布(%)				品質
	全重 (kg/a)	子実重 (kg/a)	稔実莢数 (莢/m <sup>2</sup> )	百粒重 (g)	~5.5mm	5.5~ 7.3mm	7.3~ 7.9mm	7.9mm~	検査等級
灌水区	67.8	36.5	700.2	29.8	0.1	5.2	25.5	69.2	3中
無灌水区	39.8	19.4	438.3	27.6	0.2	25.6	57.3	16.9	規格外
(無灌水区比・差)	170	188	160	108	-0.1	-20.4	-31.8	+52.3	

令和5年山形県農業総合研究センター成果引用

#### 【耕種概要】

品種：「シュウリュウ」、栽植密度：10.4本/m<sup>2</sup>、土壌分類：礫質普通灰色低地土

播種日：6/6、播種量：4.5kg/10a、基肥：発酵鶏糞(2.0kgN/10a)、中耕培土日：6/26、

7/11、灌水日：7/28、8/12、8/31

#### 3 現在実施中の試験

「里のほほえみ」を、標播（6/1 頃）、晩播（6/20 頃）、極晩播（7/10、7/30）条件で播種時期、播種密度を変更した試験を実施中。